



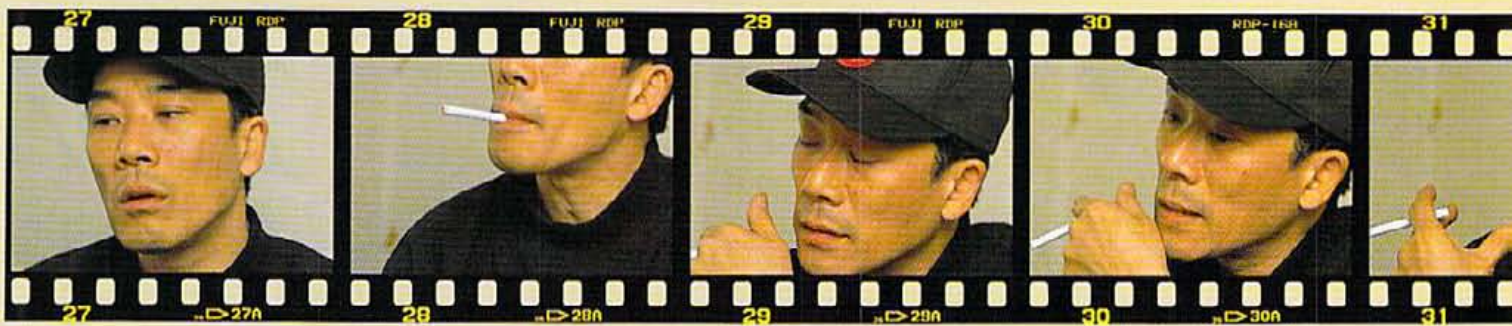
The
SPECIAL
Real
INTERVIEW
Face

宇崎竜童

なにが自然なんだろう……

お前、もういらぬよって言われるまで、
煮詰まらないで、自然体で、
70になっても、80になっても、
好き勝手に、エレキギター弾いて……

取材・文/あさかよしこ 写真/ハリー中西 取材協力/都雅都雅 資料協力/流山児事務所



いい言葉使いたい 残しておきたい

ステージの上には、アコースティックギターを抱えた宇崎竜童と井上堯之のふたりだけ。ドラムもキーボードもない。客席は、20代後半以上のおとなの聴衆で埋め尽くされている。ブルースにロック、スタンダード・ナンバーに歌謡曲。自作他作が混れ織りになった、贅沢な音派なライブである。しかもその上、ライブ半ばで、突然なんの前触れもなく、あの高倉健がうそのように姿を現わし、宇崎・井上の生ギターで「網走番外地」を歌うというハプニングのおまけつき。いい夜になった。

「京都でやるのは久しぶりですね。児童組のころには、何度かきてましたけれども。ちよっと僕はここ3年近く、ステージに立つてなかったんですね」

右耳の不調に気がついたのが10年前。3年ほど前から左耳にその影響が現われ始めた。キーボードの音を聴くだけでも、めまいを起こして倒れてしまう。

「医者に行ったら、治らないっていうんですよ。原因がわからないんです。精神的なものだと思ってるんですけどね。これはもうダメかな、歌い手をやめようかなと思っていたんですね」

その間、自らステージに立つことはなく、「魔女の宅急便」「ピカレスク・イアゴ」……と、蜷川幸雄や流山児事務所などの演劇の音楽を手掛けることになる。

「そのうち、少しづつよくなってきて、よくなったから、今のことをやるぞとしたりはしてはなくて、この“メンツ”で何かやると、よくなるんじゃないか、なんてね(笑)」

“今のこと”というのは、昨年末、新しく結成されたロックバンド「宇崎竜童&R・Uコネクション with 井上堯之」の“メンツ”というの。今日のライブの相棒の井上堯之をはじめ、琢磨仁・そうる透・関谷聡といずれもキャリアと実力で勝負の面々。

その最初のシングルが「相聞歌」。アルバムは「Newland」。大人の男の、ある種のエレガンスとデリカシーが、聴き手の胸の奥の髪をくすぐる、心憎い仕上がりになっている。

「いい言葉を使いたいな、残しておきたいなということ、阿木燿子とも相談してね。今、歌の中に心に響いて来る言葉が共有されていましてからね。その多少の責任は僕や阿木燿子の中にもあるかもしれない。クソして「服」とか「アンタあの娘の……」なんか売れるきつかけになってしまいましたからね」レコードの買い手の大部分をしめているといわれる、10代の聞き手にうける要素に対するこだわりは捨てた。

「私小説を歌う気はないんですけど、今の自分の中に湧いた感情とか、自分の身のまわりに起きた出来事とか、そういうものからできた歌。それから、夢も歌っていきたいけど、みんなが避けて通りたいかもしれない部分、目隠したいかもしれない部分をあえて、表に出して歌っている。それを聴いて下さる方に、いろんな形で受け止めていただければ、うれしいんですけど」



手招きされると ゴロニャンニャンー

「よく何屋さんですか、文化人なんですかなんて言われてますよ(笑)。僕は音楽人であれば充分なんです。充分なんですけどオオ……スケベなんでしょうね。別の世界も覗いてみたい、手招きされると「ゴロニャン」と行ってしまおうタイプなんです(笑)。ただ僕に限らず、ひとの前で表現している人たちは、違う形で表現に、気もちが動く人が多くいると思います。だって、おもしろいんだもん」

歌手、作曲家、俳優、映画監督……表現者・宇崎竜童としては、それぞれとの付き合い方に、どんな形で意識の違いを持っていくのだろうか。

宇崎竜童

The **SPECIAL** *Real Face* **INTERVIEW**



「音楽でいえば、自分で唄う歌、ひとに作る歌、舞台や映画の音楽、それぞれ全然違いますね。ひとの歌を作るのは比較的楽なんです。注文やねらいがはっきりしていますからね。自分のは、まず何を唄っているのかというところを自分の中に持たなきゃいけないもんですからね、難しいです」

芝居がわからない事もあるし、大ハズレする場合もありますね（笑）。映画音楽の時もそうです。あんまりわかりすぎると僕のためなんです。はまってしまふ。だからある程度スタンスをおかないと……」

「楽器に関しては、ロリータ趣味はないんです。また十二、三才の女の子の、ふくらんでもいない乳を揉むような歌は絶対作らない。そういう風に僕の中では、けじめをつけているつもりなんですけど」

「とされる女性が、作詞家で夫人の阿木燿子さん。どんな夫婦関係か？ そう言われても、ふつうかどうか、わからないんです。一日のうち、お互いが仕事にかかわっている時間、料理している時間、寝ている時間、出掛けている時間、二人で話す時間なんかそれぞれ何時間かずつある。これが僕らの24時間なわけです。学生時代からつきあっていた同志が結婚して、僕が音楽で、彼女は作詞家をして、たまに二人とも世に出られるようになって、それぞれの世界をもつようになった。そういう人間同志が、いま同じ屋根の下に住んでいるというんですからね。僕と彼女には皆さんに知られる前からの歴史があつて、基本的なことはその時から変わってないんです。特別じゃないと思えますよ。今でもふたりでホントによ

くしゃべりますしね」

「会話の乏しい夫婦が一般的と言われている中、この夫婦に、才能以外にも、理想的な意味での「特別さ」があるとすれば、それは溢れるほどの会話の豊かさなのかもしれない」

「ふつうは会話が無いッ？ 何で無いんですか？ 男は何を話しているか、女も何を聞いていいかわからないという事ですか？ それは興味が無さすぎるんですよ。お互いの人生と、二人の人生に……そう思わないですか？」

「思わずこちらが、たじろいでしまうほどストレートに、驚きの表情を見せる」

「だって、だって……だって子育ても家事も、それはある種の責任かもしれないけど、お掃除オバサンじゃないんだし、ダンナもたまたま金稼い



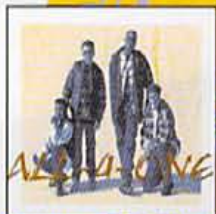
TOWER RECORDS

今月の

これを
聴かないで
どうする!!



By 永岡正直 (原田誠哉)



ALL-4-ONE / ALL-4-ONE ¥1,890

永遠のスタンダード "SO MUCH IN LOVE" を含むデビュー・アルバム。非凡なる才能を強く感じさせる秀作。注目の1枚!!



PHILIP BAILEY / PHILIP BAILEY ¥1,890

The Voice Of Earth, Wind & Fire、フィリップ・ベイリースタのニュー・アルバム! 実力派の安心して聴ける1枚です。

TOWER SOUL MUSIC SALE

PHAT GROOVES & PHUNKY BEATS

5.26 THU - 6.5 SUN

タワー各店で選んだソウル・ラップなど100アーティストの直輸入CD、VIDEO全商品を¥200オフ!!

●¥4000以上の商品は10%オフとなります。

京都店

河原町ビブレ6F Tel. 075-212-7058

OPEN: A.M.11:00 - P.M.8:00

大阪店

心齋橋アメリカ村 Tel. 06-211-2997

OPEN: A.M.11:00 - P.M.9:00 (土日のみ10:00 OPEN)

TOWER RECORDS

L.A. CHICAGO BOSTON NEW YORK LONDON
SAPPORO SENDAI NIIGATA CHIBA
IKEBUKURO SHINJUKU SHIBUYA HACHIOJI
YOKOHAMA KAWASAKI NAGOYA
KYOTO OSAKA HIMEJI HIROSHIMA FUKUOKA



でくるだけだったら、もう家庭とか夫婦とかは言えないんじゃないですか？それは感情なんですよ」

「たまたま掛けるよさうな彼のこの語り口、胸のすくような心地良さだ」

「お互いが興味を失ってる、刺激を受けようと思わなくなってる。それは物凄く失礼な事なんです」

「ヨメともよくそんな話をしてますけど、僕は彼女に対して今も物凄く興味を持っているし、僕に何をぶつけてくるのか、その時にぶつけ返すものがあるのかって真剣に考えますよ」

「世の男ともよ！ついでに女ともよ！耳の穴よくかっほじって、宇崎のこの言葉を聞くのさ」

「結婚して22年。結婚記念日は今ちょっと思い出せない、そして実は本当のところ、女性という摩訶不思議な生き物がよくわからないのだからである」

「男同士だったら、バカ、ヘチマ。タコっていったら何かすんじやうし、飯に傷ついたとしても、慰め方や励まし方なんか何となくわかるんだだけ

れども、女の人って全然ちがうみたね、生き物として（笑）。女の人ってネコによく似てると思うんですね。ウチで飼ってるネコは、耳がカゆいとか、何か甘えたいとか、そういう時だけすり寄ってきて、こっちがソウウカソウカ、ヨシヨシやってやるよ、きなり引っこ抜いたりする。おまえがうつきたから、こつしたんたろう？って言うんですけど、わかんないですねネコは（笑）。ネコだけでもわかんないのに、女性ももっとわかんないですヨ、ほんと、まったく（笑）。

「そういう意味では神秘的ですね。すごい口マンチックに見えますよ」

変身したわけじゃない

「黒いシャツに帽子、シャープにそげた頬、楽屋での彼は、ちょっと不思議な色気がある。少々顔色が悪いのは、昨夜食べた生ガキにアタックさせいらしい」

「ある視点から見ると、ダウン・タウン・ブギウギ・バンドみたいな出方

をして、そのあと、突然日本的なことに走って、和太鼓なんかを取り入れた童謡組のようなやり方をし、それで今度は、エレクトリック・バンドなんか作って（笑）、表面的なことだけを見ると、なんだアイツは、変身はしっかりやがってと思われれるかもしれないよ、ウーン。でも自分では、ヘーシックなところは全く変わってないんですよ」

「宇崎童謡の存在のベースになるもの、それは間違いなく日本の土壌である」

「僕は国粋主義者でも何でもありませんけど、日本人であることだけは、確かだと思ってますから、日本の音楽をどこかで意識するっていう意味で、それを自分に取り入れることしたら、どうなるだろうということなんです」

「童謡組もそのお勉強のひとつだったような、気がするんですけど、それで、2年間休んでいる間に、サア

「何をやりたいんだろ、なにが自然なんだろうって考えましたね」

「彼を含め、いま存在する日本人が時代から、社会から、そして土壌から吸収した音楽は、決して邦楽と呼ばれるものではない。ドレミファソラシドをベースにした洋楽に、なじんできたはずであった」

「日本に根付いている音楽を、伝えたり、楽しんだりする時に、必ずしも音階で構成されたメロディーや、和楽器にこだわらなければならないというか、本当にやりたかったことは、そういうものだったんだろうか……」

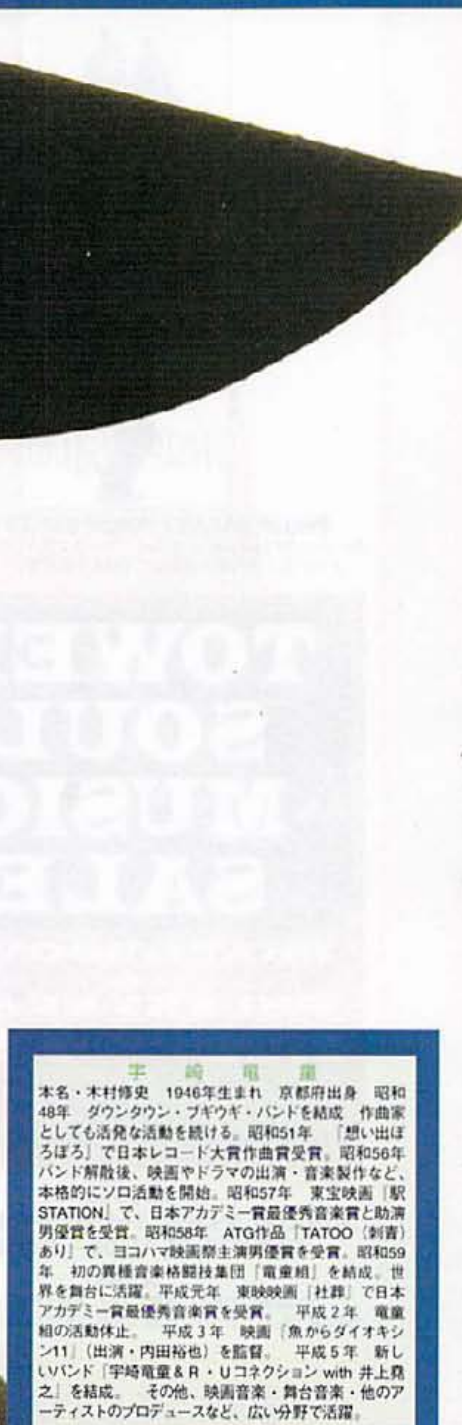
「そうじゃないよ、自然体で続けたい、自然に歌いたくなるもの、サラサラでできてしまふメロディーっていうのは、特に日本のものを意識した音じゃないんですよ。それを意識しないでできた音楽は、いわば無国籍のメロディー、けれども間違いない僕の中でできたものなんです」

「今そういう音に歌詞をのっけて、歌えるバンドをやりたいっていうことなんです」

「平均年齢が40といくつか。今の若い女の子にうける要素なんか何にも

「無いと口では言うのだけれど……」

「バンドのこれからに関していえば、今まで8年とか6年やって、店じまいしてきた事に対する反省というものが、僕の中にあるわけだ。だから、このバンドでも二所りターという形になっているんですけど、この先、追っ払われない限りは（笑）、お前もつらいよって言われるまでは、煮詰まらないように、自然体で続けていきたいですよ。それで70になっても80になっても、このバンドの奴らが、好き勝手にエレキギター弾いてる姿を見極めたいというか、見届けたいと思っっていますね」



宇崎 電 童
 本名・木村修史 1946年生まれ 京都府出身 昭和48年 ダウンタウン・ブギウギ・バンドを結成 作曲家としても活発な活動を続ける。昭和51年 「思い出ほろほろ」で日本レコード大賞作曲賞受賞。昭和56年バンド解散後、映画やドラマの出演・音楽製作など、本格的にソロ活動を開始。昭和57年 東宝映画「駅STATION」で、日本アカデミー賞最優秀音楽賞と助演男優賞を受賞。昭和58年 ATG作品「TATOO（刺青）」ありで、三コハマ映画祭主演男優賞を受賞。昭和59年 初の異種音楽格闘技集団「電童組」を結成。世界を舞台に活躍。平成元年 東映映画「社葬」で日本アカデミー賞最優秀音楽賞を受賞。平成2年 電童組の活動休止。平成3年 映画「魚からダイオキシ」(出演・内田裕也)を監督。平成5年 新しいバンド「宇崎電童&R・Uコネクション with 井上隼之」を結成。 その他、映画音楽・舞台音楽・他のアーティストのプロデュースなど、広い分野で活躍。



宇崎電童&R・Uコネクション with 井上隼之
 ファースト・シングル「相聞思」(5/11発売)
 フォースト・アルバム「New music」(9/22発売)
 宇崎電童&R・Uコネクション with 井上隼之
 ハートフルアルバム「女がに」(12/21発売)
 5/25発売 以上東芝EMI
 コンサート 大阪・IMPホール(7/10)